

平成 28 年度・財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・ 満期保有目的の債券...原則償却原価法(定額法)によっている。
- ・ 投資信託...時価法を採用している。
- ・ 時価のない金銭信託・仕組債...帳簿価格は、原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 有形固定資産...建物は定額法、その他は定率法
- ・ 無形固定資産...定額法

(3) 引当金の計上基準

- ・ 貸倒引当金...債権の貸倒に備えるため、回収可能性を評価して計上している。
- ・ 管理引当金...既販売物件及び所有する賃貸不動産に対する補償・補修に備え、一定額を計上している。
- ・ 預り保証引当金...既販売物件販売時に預かった割賦保証金並びに賃貸事務所等の預かり敷金を計上している。
- ・ 賞与引当金...職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ・ 退職給付引当金...従業員の退職給付に備えるため、当期末において発生していると認められる額を計上している。
- ・ 役員退職慰労引当金...当該規程に基づく退職金見積額をもって計上している。

(4) リース取引の処理方法

- ・ ファイナンス・リース取引...リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理：消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 会計方針の変更

(1) 新・新会計基準(平成 20 年)に準拠した表示と内容(貸借対照表(様式 1-1)、正味財産増減計算書(様式 2-1)、及び財務諸表に対する注記)で纏めている。

又、貸借対照表及び正味財産増減計算書の必要な附属明細書は、この注記に包含されている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|--------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 10,000,000 | - | - | 10,000,000 |
| 小 計 | 10,000,000 | - | - | 10,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 12,980,280 | 1,606,340 | - | 14,586,620 |
| 預り保証引当資産 | 59,552,125 | - | 5,793,000 | 53,759,125 |
| 債権管理等業務安定化資金 | 4,000,000 | - | 2,000,000 | 2,000,000 |
| 小 計 | 76,532,405 | 1,606,340 | 7,793,000 | 70,345,745 |
| 合 計 | 86,532,405 | 1,606,340 | 7,793,000 | 80,345,745 |

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対応する額) |
|--------------|------------|------------------|------------------|--------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 10,000,000 | 10,000,000 | - | - |
| 小 計 | 10,000,000 | 10,000,000 | - | - |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 14,586,620 | - | - | 14,586,620 |
| 預り保証引当資産 | 53,759,125 | - | - | 53,759,125 |
| 債権管理等業務安定化資金 | 2,000,000 | - | 2,000,000 | 0 |
| 小 計 | 70,345,745 | - | 2,000,000 | 68,345,745 |
| 合 計 | 80,345,745 | 10,000,000 | 2,000,000 | 68,345,745 |

5. 担保に供している資産

新横浜店舗事務所及び山下公園店舗の土地・建物(資産)387,372,234円(帳簿価格)は、(独法)福祉医療機構からの一律・転貸の短期・長期借入金1,246,114,872円の担保に供している。

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|--------|-------------|-------------|-------------|
| 建 物 | 356,610,000 | 132,627,766 | 223,982,234 |
| 建物付属設備 | 69,000 | 62,635 | 6,365 |
| 什器備品 | 5,563,610 | 2,065,258 | 3,498,352 |
| 土地 | 163,390,000 | 0 | 163,390,000 |
| 電話加入債権 | 224,720 | 0 | 224,720 |
| ソフトウェア | 1,675,000 | 1,252,083 | 422,917 |
| 合 計 | 527,532,330 | 136,007,742 | 391,524,588 |

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次の通りである。尚、時価は平成29年3月31日時点である。

(単位：円)

| 科 目 | 帳簿価額 | 時 価 | 評価損益 |
|-------------------------|------------|------------|-----------|
| 日興証券・マツコリーグループ債券 | 10,000,000 | 10,531,000 | 531,000 |
| 日興証券・オーストラリアン豪\$社債 | 9,254,100 | 9,119,666 | 134,434 |
| 岡三証券・スイートン輸出信用銀行豪\$債券 | 9,995,800 | 9,144,535 | 851,265 |
| 野村証券・東京グローバル都債 | 10,060,680 | 8,520,316 | 1,540,364 |
| 野村証券・地方公共団体金融機構豪\$債券 | 9,491,900 | 9,287,172 | 204,728 |
| 三菱証券・三菱信託銀行豪\$社債(H33/1) | 17,178,013 | 17,670,237 | 492,224 |
| 三菱証券・三菱信託銀行豪\$社債(H33/6) | 18,953,393 | 18,198,156 | 755,237 |
| 合 計 | 84,933,886 | 82,471,082 | 2,462,804 |

8 . 引当金の明細

(単位：円)

| 科 目 | 期首残高 | 当期 増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|------------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 賞与引当金 | 1,173,574 | 1,246,411 | 1,173,574 | 0 | 1,246,411 |
| 貸倒引当金 | 6,100,000 | 2,200,000 | 0 | 0 | 3,900,000 |
| 管理引当金 | 8,750,000 | 0 | 2,800,000 | 120,000 | 5,830,000 |
| 役員退職慰労引当金 | 9,673,820 | 2,133,780 | 0 | 0 | 11,807,600 |

以上